

順位	チーム名	記録
優勝	藤田	1時間7分4秒
準優勝	佐川急便福島	1時間9分27秒
第3位	大木戸義経	1時間11分46秒

区間	氏名	チーム名
第1区	山崎 達也	藤田
第2区	佐藤 凌	藤田
第3区	村上 正幸	国見町役場
第4区	鈴木ほのか	藤田
第5区	高橋 篤輝	藤田
第6区	安孫子貴志	小坂チーム
第7区	佐藤悠貴也	藤田
第8区	山守 太郎	佐川急便福島

敢闘賞	観月台走友会 B
ニアピン賞	観月台走友会 A



仲間の声援を背にゴール



秋晴れの国見を駆ける選手

藤田チームに優勝の栄冠

第42回国見町内一周駅伝競走大会

第42回国見町内一周駅伝競走大会が11月4日、秋晴れの空の下で開かれました。今年9チームが参加し、町内を巡る8区間19kmをタスキでつなぎました。選手のみなさんは、沿道から送られる多くの声援に応えながら力走し、見事全チームが完走。結果は、終始首位を守り続けた藤田チームが優勝に輝き、初出場の佐川急便福島チームが準優勝する健闘を見せるなど、白熱した大会となりました。

第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月18日、スタートの白河市からゴールの福島県庁までの16区間95kmで練り広げられました。今大会には、県内全59市町村、53チームが出場し、それぞれの誇りを胸に福島路を駆け抜けました。国見町チームは、第1区の高橋香澄選手が区間9位の快走を披露。その後も、各選手が町応援団の声援に応える粘り強い走りで、5時間47分47秒で総合36位、町の部16位の成績を収めました。

仲間を信じてタスキを繋ぐ

第30回ふくしま駅伝 国見町は総合36位



感動をありがとうございました!



山崎達也選手(左)にタスキをつなぐ山田哲也選手(右) (第4中継所)



ゴールを目前に力を振り絞る第16区の佐藤凌選手(左)

国見町に縁のあるみなさんが集い、交流を深める場として、平成26年より毎年開催している「東京くみにみ会」が11月17日、東京都内のホテル・ルポール麹町で開かれました。今年も、国見町に縁のある首都圏在住者と町からの出席者合わせて約200人が参加しました。会場には、国見産の食材を使用した料理や商店街の自慢の名産品が並び、参加者はふるさとの味を楽しみました。また、会場内に設けられた国見の

ふるさとへの思い新たに

第5回東京くみにみ会

旬の農産物や6次化商品の販売ブースでは、ふるさとの特産品を買い求める多くの人で賑わいました。当日は、国見町応援大使のミュージカル俳優・沢木順さんとピアニスト・木住野佳子さん、『ふたり』のボーカリスト・石崎紀彦さんも駆けつけ、石崎さんがスペシャルライブを披露し、会場を盛り上げました。ファイナルでは、全員で「ふるさと」を合唱し、参加者はふるさと国見への思いを新たにしました。



国見町応援大使『ふたり』のライブで盛り上がる会場



参加者全員で『ふるさと』を合唱



特産品をPRするニセコ町のみなさん

第5回くみにみ産業祭

岐阜県池田町

池田町ちゃちゃまるステージ

第5回くみにみ産業祭が11月10日と11日の2日間にわたり、上野台運動公園グリーンアリーナ923で開かれました。会場内のブースでは、新鮮な農産物の展示即売会や商店街の銘菓・名品の販売、町内事業所の技術展示などが行われ、多くの来場者で賑わいました。また、国見町と交流連携を進めている北海道ニセコ町と岐阜県池田町も出展し、職員らがそれぞれの特産品のPR販売を行い、多くの人気を集めました。

国見の“人・もの・わざ”が集う

第5回くみにみ産業祭



多くの人で賑わう国見野菜の展示即売会

特設ステージでは、くみ幼稚園児のダンスや町文化団体による多彩なステージが披露されたほか、スペシャルゲストのシンガーソングライターMANAMIさんとAliceさんのライブも行われ、会場を盛り上げました。国見町が誇る「農」「商」「工」が勢ぞろいした「くみにみ産業祭」。町の魅力を再認識する2日間となりました。